

## 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 理事会 議事録（要旨）

- 1 日 時 平成 31 年 3 月 19 日（火）午前 10 時 00 分から午後 12 時 10 分
- 2 会 場 横浜市健康福祉総合センター 8 階 大会議室 8 A B
- 3 出 席 理事総数 18 名中 14 名出席
- 4 議 題
  - 第 1 号議案 会員の承認について
  - 第 2 号議案 平成 30 年度収入支出補正予算（案）について
  - 第 3 号議案 横浜市社会福祉協議会委任規程の一部改正について
  - 第 4 号議案 平成 31 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について
  - 第 5 号議案 管理職の人事異動について（当日配布）
  - 第 6 号議案 評議員会の招集について

### 報告事項

- 1 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告について
- 2 長期ビジョン 2025 中期計画（2014～2018）の振り返りについて
- 3 平成 30 年地域ケアプラザ等実地指導監査の実施結果について
- 4 横浜市社会福祉協議会指定管理受託の方向性について
- 5 第 4 期横浜市地域福祉保健計画について

### 5 議案の審議結果

#### 第 1 号議案 会員の承認について

事務局より、構成会 6 団体の新規入会の承認について議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

#### 第 2 号議案 平成 30 年度収入支出補正予算（案）について

修繕等による指定管理料の追加に伴う平成 30 年度収入支出予算の補正について、事務局より議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

#### 第 3 号議案 横浜市社会福祉協議会委任規程の一部改正について

横浜市社会福祉協議会委任規程を、現行の介護保険法に合わせ文言と条番号を変更する一部改正について、事務局より議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

#### 第4号議案 平成31年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について

事務局より、平成31年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について、議案書に基づき説明。介護人材の確保に関して、理事より報告があり、以下の質問があった。その後、全員異議なく原案のとおり承認された。

（理事）高齢者だけでなく、首都圏の福祉人材については枯渇状態である。横浜市でも人材確保対策について検討を進めており、昨年7月にベトナムを訪問し、5つの大学と覚書を取り交わし、この学生をインターンシップ生として受け入れることとなった。

10年前に、市との共同事業で外国籍市民の職場提供を行い、ベトナム人の方に来ていただいていた実績もあり、本法人受け入れを行った。

インターンシップ生なので、「労働力としては見ないでほしい」と、ベトナム政府から言われ、生命・生活の全ての責任を取るという書類を提出した。

2名はドンア大学の4年生。この9か月のインターンが終われば、卒業という方々だった。9月のインターンを終え卒業すると、技能実習生として、日本で受け入れるということになっている。大変優秀で、日本語はN4を取得し、ほとんど不自由なく会話ができた。

ベトナムは、祖父母や父母を敬う、忘れかけられた日本の姿が残っている国だそう。大学に出させてもらったからこそ、たくさん勉強し、また日本に帰ってきたいと言っていた。

国と国との信頼関係を壊さないよう、職員とともに力を合わせて頑張っていきたいと思う。

（理事）社協でも、外国人人材の確保に取り組むのか。

（事務局）人材確保は大きな課題。新規事業の受託により職員数は増えているが、定着しないのが現状。また、社協の志願者数も減っているため、平成31年度は、各方面へのPRを強化するが、外国人人材の雇用については、まだ踏み込んで検討していない。

（理事）今朝の朝日新聞に、成年後見制度をやめるといような記事があったが、市社協としては関係がないのか。

（事務局）国では、成年後見制度について専門家による検討が行われている。横浜生活あんしんセンターでも、権利擁護事業の利用者が1,000人を超え、利用が進んでいる。成年後見人については、専門職の後見人が増えている状況だが、親族後見人が望ましいとされている。中核機関の設置に合わせて、平成31年度は、現状を踏まえ重点的に検討していきたい。

（事務局）制度をやめるといよりは、より利用しやすいものにしようという観点で見直しが行なわれている。成年後見人については、専門職による受任では、融通が利か

ない場面もあるため、柔軟な対応ができる親族後見人の良さを伸ばすことで、成年後見制度の利用につなげていこうというもの。ただ、親族後見の場合、後見業務で悩む場面も多いため、中核機関がその支援を行う方針を国が示しており、その設置に向け、来年度は検討を進めていきたい。

(あんしんセンター担当理事) 現在成年後見人の受任の8割が、弁護士・社会福祉士等の専門職によるものだが、なかなかうまくっていないケースが多いのが現状。今朝の新聞に掲載されていたものは、成年後見制度を、被後見人にメリットがあるものに変えていかなければならない、そうすることで制度の利用促進がなされるだろうという記事。

日弁連と最高裁でも協議がなされ、日弁連としては、これでは職務が侵されるのではないかということが危惧されているが、そうではなく、親族後見に軸足を置いたうえで、専門職としての関わり方があるのではないかと思う。例えば、後見監督業務など。地域に根差した成年後見となると、市町村における中核機関がどのような役割を担うのかが重要視される。そういった点を、横浜生活あんしんセンターとしても検討していきたい。

#### 第5号議案 管理職の人事異動について

管理職の人事異動について、事務局より議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

#### 第6号議案 評議員会の招集について

事務局より、平成31年3月27日開催予定の評議員会の招集について、議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

#### 報告事項1 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

会長・常務理事・あんしんセンター担当理事・障害者支援センター担当理事の4名より、各々の職務執行状況について、議案書に基づき説明。

#### 報告事項2 長期ビジョン2025中期計画(2014～2018)の振り返りについて

長期ビジョン2025中期計画(2014～2018)の振り返りについて、事務局より議案書に基づき説明。

#### 報告事項3 平成30年地域ケアプラザ等実地指導監査の実施結果について

平成30年地域ケアプラザ等実地指導監査の実施結果について、事務局より議案書に基づき、重大な報告事項はなかったことを説明。

報告事項4 横浜市社会福祉協議会指定管理受託の方向性について

横浜市社会福祉協議会指定管理受託の方向性について、事務局より議案書に基づき説明。

報告事項5 第4期横浜市地域福祉保健計画について

第4期横浜市地域福祉保健計画が完成したことについて、事務局より資料に基づき説明。完成版冊子を配布した。